

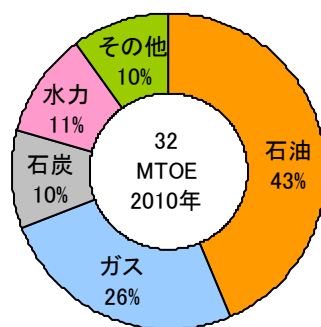
3-12 コロンビア

1. サマリー

1. エネルギー事情

- (1) 一次エネルギー供給量 (2010年) : 32 百万 TOE (日本の 7%)
- (2) 一人当たりの一次エネルギー供給量 (2010年) : 0.70TOE/人 (日本の 19%)
- (3) エネルギー自給率 (2010年) : 327%
- (4) エネルギー起源 CO₂ 排出量 (2010年) : 60.7 百万 CO₂ 換算 ton (日本の 5.3%)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO₂ 排出量 (2010年) : 1.31CO₂ 換算 ton/人 (日本の 14.6%)
- (6) エネルギー源別可採年数 (2011年末) : 原油 5.9年、天然ガス 14.9年、石炭 : 79年

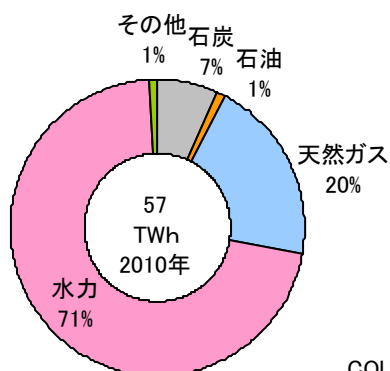
一次エネルギー供給構成 (2010年)



COUNTRY: Colombia

(出所) IEA, Energy Balances of Non-OECD Countries 2012 Edition

発電電力量構成 (2010)



COUNTRY: Colombia

(出所) IEA, Energy Balances of Non-OECD Countries 2012 Edition

2. エネルギー政策のポイント

(1) エネルギー政策担当機関

- エネルギー関連行政機関は、鉱山エネルギー省である。同省はエネルギー以外に鉱業も管轄している。大臣は2012年9月4日から Federico Renjifo Vélez 氏になった。鉱山エネルギー省はエネルギーおよび鉱業の政策策定に加えて、同部門の監督・規制も行っている。原子力と放射性物質の取り扱いおよび監督・規制も同省の管轄である。
- コロンビアの炭化水素資源の管理、石油開発権益の契約、ロイヤルティの徴収は国家炭化水素庁 ANH が行っている。ガスと電力の監督は鉱山エネルギー省のエネルギー・ガス規制委員会 CREG が行っている。

(2) 基本政策

- コロンビアの国家目標「Towards a Communitarian State」達成に向けた鉱山エネルギー省の基本政策は、環境的に持続可能な鉱山・エネルギーの開発を行い、有能な人的資源および先進的な技術を活用して、国内にエネルギーを効率的に供給するとともに、国際マーケットに余剰分を輸出することにある。具体的には、炭化水素資源の開発、石炭を含む鉱物資源の開発、電力の供給増加、ガスの利用促進にある。

(3) 最近の動向

- 2011年11月、鉱山エネルギー省は2014年までの鉱山・エネルギー部門におけるインフラ投資計画を発表した。総投資額は70億ドルで、内訳は石油パイプラインに42億ドル、ガスパイプラインに5.2億ドル、Magdalena川輸送に10.2億ドル、Carreraの石炭専用鉄道に12億ドルとなっている。
- 2012年4月、カナダのCanacol EnergyはExxonmobilとコロンビア北-中央部のシェール開発鉱区に参加すると発表した。コロンビアではシェール、石炭に含まれる非在来型石油・天然ガスの開発に力を入れており、2012年の鉱区入札では109鉱区のうち、約30%が非在来型資源になっている。

3. 日本とのエネルギー分野における関係

- 日本はコロンビアから原油および石炭を輸入しているが、輸入量は非常に少ない。2011年の原油輸入量は約8万KLで日本の原油輸入に占めるシェアは1%未満、2011年の石炭輸入量は約27万トンで日本の石炭輸入に占めるシェアは1%未満であった。
- 2011年6月、伊藤忠商事は米国Drummond社から、同社がコロンビアで操業中の炭鉱および輸送インフラをイタリアの会社と共同で買収した（伊藤忠商事のシェアは20%）。生産量は2012年が3,000万ton/年、2015年には3,500万ton/年に増加する予定である。なお、JBICは2012年3月、伊藤忠商事に対して62万ドルを限度（JBIC分）とする本買収に伴う資金の貸付を行った。

2. 主要エネルギー指標

(2010年)

(1)	一次エネルギー供給量	32 百万 TOE	
(2)	一人当たりの一次エネルギー供給	0.70 TOE/人	
(3)	GDP 当たりの一次エネルギー供給	0.18 TOE/千\$	
(4)	エネルギー自給率	327 %	
(5)	エネルギー起源 CO ₂ 排出量	60.7 百万 CO ₂ 換算 ton	
(6)	一人当たりエネルギー起源 CO ₂ 排出量	1.31 CO ₂ 換算 ton /人	
(7)	エネルギー源別構成率	石炭	10 %
		石油	44 %
		ガス	26 %
		原子力	0 %
		水力	11 %
		再生可能エネルギー等	10 %
(8)	エネルギーの輸入依存度	-227 %	
(9)	石油の輸入依存度	-191 %	
(10)	輸入原油の中東依存度	- %	
(11)	原油輸入先	第1位	(原油輸入なし)
		第2位	
		第3位	

(出所) : (1)~(4) および (7)~(9) は IEA, Energy Balances of Non-OECD Countries 2012 Edition
(5)~(6) は IEA, CO₂ Emissions from Fuel Combustion 2012